

学年・教科	第1学年	技術・家庭（家庭分野）	担当者 相川 由圭
学習目標 ○生活や技術について関心をもち、生活を充実向上させるために進んで実行しようとする。 ○生活について見直し、課題の解決を目指して工夫し、創造することができる。 ○生活や技術に関する基礎的な知識を身につけ、生活と技術とのかかわりについて理解する。			
指導計画		学習内容	
○自分の成長と家族・家庭生活 「食生活と自立」 ○健康と食生活 ・毎日の食事について考えてみよう ・栄養素のはたらきについて知ろう ・食事の計画を立てよう		1 学 期	○自分の成長と、家族や地域の人びととのかかわりと、自分自身の理解を深める。 ○生活の中で食事が果たしている役割について知り、健康によい食習慣を身につけることの重要性を理解する。 ○食品の栄養的特徴を知り、そのはたらきを理解する。 ○1日に必要な食品の種類と概量を知り、1日分の献立作成の方法を理解する。
○食品の選択と保存 ・食品の選び方について考えよう ・食品の表示を知ろう ○肉、魚、野菜を調理しよう ○これからの食生活		2 学 期	○日常多く用いられている食品の品質を見分け、用途に応じて選ぶことができる。 ○加工食品の種類について知り、上手な活用の方法を工夫することができる。 ○簡単な日常食の調理実習を通して、食品の衛生的な取り扱いや基本的な調理ができる。 ○肉の調理上の性質を知る ○魚の調理上の性質を知る
「自分らしく清潔に着る」 ○日常着の手入れ ・わたしたちの衣服の材料		3 学 期	○目的に応じた衣服の選択ができる。 ○衣服の表示を理解し、衣服の選択や手入れができる。
観点別評価の観点と主な評価方法について ○ 知識・技能 「学習プリントの記入内容、定期テスト」「学習過程における技能の習熟状況、完成した作品」などを評価します。 ○ 思考・判断・表現 「学習した内容の活用状況や実際の生活の場で工夫する力」「作品の製作過程や自己評価」などにより多面的に評価します。 ○ 主体的に学習に取り組む態度 「作業や実習、実習計画立案への積極性、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、レポートや家庭での実践記録」などを評価します。			
学習のアドバイス ・1週間に1時間しかない教科なので、授業を大切に集中して受けましょう。 ・授業で学んだことを知識として持つだけでなく、活かした力とするために家庭で実践しましょう。			